

## 令和6年度校長あいさつ



沖縄工業高校のHPをご覧ください、ありがとうございます。

本校は、明治35年(1902年)、首里区徒弟学校として木工科、漆工科の2科を設置し開校しております。その後、沖縄県立工業徒弟学校、沖縄県立工業学校に改称し、戦後、昭和23年(1948年)琉球民政府立工業高等学校として再出発し、琉球政府立沖縄工業高校、沖縄県立沖縄工業高等学校と改称し現在に至り、今年で122年を迎える県内有数の歴史と伝統を誇る学校です。これまでに3万1千名を超える卒業生を輩出しており、県内外はもとより国外においても、産業界をはじめ政治・文化等の様々な分野で活躍されています。

現代は、テクノロジーの進化によって、あらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、将来の予測が困難な状況にあることから、VUCA(Volatility:変動性、Uncertainty:不確実性、Complexity:複雑性、Ambiguity:曖昧性)時代と呼ばれています。このような激変する社会に対応できる人材育成について、本校では「実学(ものづくり)=人づくり」を教育の中心に据え、校訓である「誠実」「勤勉」「忍耐」の精神の元、社会の変化に柔軟に対応できる人材、グローバル(グローバル+ローカル)な視点で、世界基準で物事を考え、かつ地域社会に目を向けられる人材の育成を目指しています。

現在、「電子機械科」「情報電子科」「建築科」「土木科」「工業化学科」「生活情報科」の6科を設置し、各科で特色ある取組を行っています。県内外75校の中学校から進学した915名が在籍し、授業や資格取得、ものづくりコンテスト、部活動に積極的・意欲的に挑戦し大きな成果を上げております。

令和5年度『進路実績』は、進路決定率98.3%〔就職決定率100%(156名)、進学決定率98.5%(131名)〕であり、県内外の優良企業に就職し、進学では国公立大含め多くの大学・専門学校等に合格し夢を実現しています。

『資格取得』においては、多くの生徒が難関の資格等に挑戦し成果を上げており、昨年度は75の国家資格、検定に延べ1,391名が合格を果たしています。また、ジュニアマイスター認定者はゴールド14名、シルバー19名、ブロンズ2名と素晴らしい実績を残しています。

『部活動・コンテスト等』の近年の活躍では、選抜高等学校野球大会21世紀枠沖縄県推薦の他、自転車、ボウリング、弓道、ウエイトリフティング部の各種大会における個人・団体の優勝や、写真甲子園全国大会準優勝、若年者ものづくり競技大会メカトロニクス職種銅賞、技能五輪全国大会メカトロニクス職種出場、文部科学大臣杯全国青少年弁論大会派遣、高等学校ロボット競技大会ロボット相撲優勝、県写真技能競技会金賞、ロボットアメリカンフットボール県大会優勝等、体育系・文化系共に輝かしい実績をあげています。

今後も産業界・地域・PTA・家庭・同窓会・後援会等と連携協力し、地域から愛され支持される学校を目指し、全職員一丸となって取り組んで参ります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

沖縄県立沖縄工業高等学校  
校長 外間 昌 繁